

2020年3・4月号

発行：日本共産党狛江市議団

連絡先：市議会控室3430-1177

日本共産党狛江市議団の活動を紹介します。

## 14年間で4人家族で9万円負担増 国保税の大幅値上げに反対

予算組替え（値上げ4割減額、多子世帯軽減）  
を提案しました。 ー日本共産党市議団ー



日本共産党狛江市議団。（左から）田中とも子、岡村しん、宮坂良子、西村あつ子、鈴木えつおの各議員

みなさん、こんにちは。  
3月議会の報告をさせていただきます。

3月11日と12日開かれた予算委員会では狛江市の来年度予算が審議されました。

日本共産党市議団は、消費税増税や新型コロナウイルス、台風被害などによって市民生活が厳しくなっている中、原案に盛り込まれた国保税の大幅値上げは市民生活を直撃し、特にひとり親家庭や低所得者等に重

い負担を押しつけるものになるとしてこれに反対、国保税値上げ額を4割減額し、さらに多子世帯の保険税を軽減する予算組替え提案を行いました。

### 所得33万円以下が4割

国保加入者には年金生活者や非正規労働者、失業された方などが多く所得33万円以下の方々が4割近くも占めています。

す。今回の国保税値上げは、今後14年間にわたり2年ごとに値上げし最終的には一人あたり2万2千600円、4人家族で約9万円もの値上げを行うものです。とても耐えられないものではありません。

そのため日本共産党市議団は、値上げ幅を42・6%軽減することにも、多子世帯の2人目以降の子どもの均等割（一人2万6000円を半額にする）

## 新型コロナウイルス

### 子ども達の居場所の確保を

#### 岡村しん議員、田中とも子議員が要求

「3食つくるので食費にお金がかかって大変です」「宿題が多すぎてストレスがたまっている」

「今後どうなるか不安」「子ども達の居場所確保へ」

「今後どうなるか不安」「子ども達の居場所確保へ」

要望が寄せられ、3月17日、遊び場、運動の場として校庭開放が行われ、子ども達が元気に遊んでいました。



国保予算の組替え提案を行いました。

多子世帯の軽減制度は、昭島、東大和、清瀬、武蔵村山、あきる野、武蔵野（4月）の6市で実施されています。

また一般会計の予算組替え提案には国保税軽減のための繰出し金の増額のほか、ひとり親

### 一般会計予算の組替え 提案に9議員が賛成

家庭への家賃補助や就学援助の拡大、加齢性難聴者への補聴器支給、消費税増税・コロナ対策融資制度などが盛り込まれています（4面に詳報）。

## 子育て世帯に朗報



### 子どもの医療費助成制度 小学1・2年生の所得制限撤廃へ

#### 西村あつ子議員が提案

10月から子どもの医療費助成制度の小学校1・2年生の所得制限が撤廃されることになりました。これにより約4000人の子

ども達が新たに医療費助成制度の対象となり通院の場合1回200円の負担で医療を受けられ、入院は差額ベッド代や食事代等を除く保険診療の自己負担額全額が助成されます。

23区は全区が所得制限を撤廃、多摩でも8市が所得制限を撤廃、5市が学年を区切って撤廃しています。日本共産党市議団は保護者の要望を受け一貫して所得制限の撤廃を要求、昨年6月議会では西村あつ子議員が小学校1・2年生の所得制限の撤廃を提案、松原市長が「近隣市の動向も見据えながら検討していく」と答弁していました。

しかし組替え提案にもりこまれた国保税の値上げ抑制などの施策は、市民生活を守るうえでどうしても必要な予算です。日本共産党はひきつづき、これらの施策の実現にがんばります。

# 水害対策の抜本強化を

土砂掘削、 樹木伐採、 堰の改修、 堤防整備

## 国と流域自治体ー水害被害軽減へ6カ年計画

一日も早く実現を 日本共産党

1月31日、狛江市も含む多摩川流域自治体と東京都、神奈川県、気象庁東京管区气象台、京浜河川事務所は、昨年の水害を踏まえた「多摩川緊急治水対策プロジェクト」をまとめました（下段に概要図）。

プロジェクトでは、①河川の対策として、河道の土砂掘削と樹木の伐採（狛江市の二ヶ領宿河原堰から上流の稲城市の大丸用水堰付近までと大田区六郷橋付近の上流下流部）による水位低減、稲城市大丸用水堰の改修、世田谷区玉川の堤防整備等を令和元年度から令和6年度までに約191億円をかけて実施します。また小河内ダムなど既存ダムの洪水調節機能を最大限活用

ようにつなげられます。日本共産党市議団は、これらの対策が一日も早く実現できるようにがんばります。

### 樋管に強力な常設排水ポンプを

ただこの計画には浸水被害を防ぐために必要な強力な常設排水ポンプの整備は載っていません。六郷・猪方両樋管に強力な排水ポンプの設置を求めています。

左の写真は兵庫県丹波篠山市

の排水ポンプ場と排水ポンプです。工期は約10ヶ月。平成30年7月豪雨で浸水被害はゼロ。排水量は126m<sup>3</sup>/分で猪方樋管に設置されるポンプ（2m<sup>3</sup>/分）の63倍の排水能力がある。



兵庫県丹波篠山市の排水ポンプ場（写真上）と排水ポンプ（写真下）。160m<sup>2</sup>の敷地に工事費約3億円（国庫補助1／2あり）で建設。

### 多摩川緊急治水対策プロジェクト

～首都東京への溢水防止及び沿川・流域治水対策の推進～

- 令和元年10月台風第19号により、甚大な被害が発生した、多摩川において、国、都、県、市区が連携し、「多摩川緊急治水対策プロジェクト」として取りまとめました。
- 国、都、県、市区が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、「社会経済被害の最小化」を目指します。
- ①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】
  - ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】
  - ③減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】



#### ■河川における対策

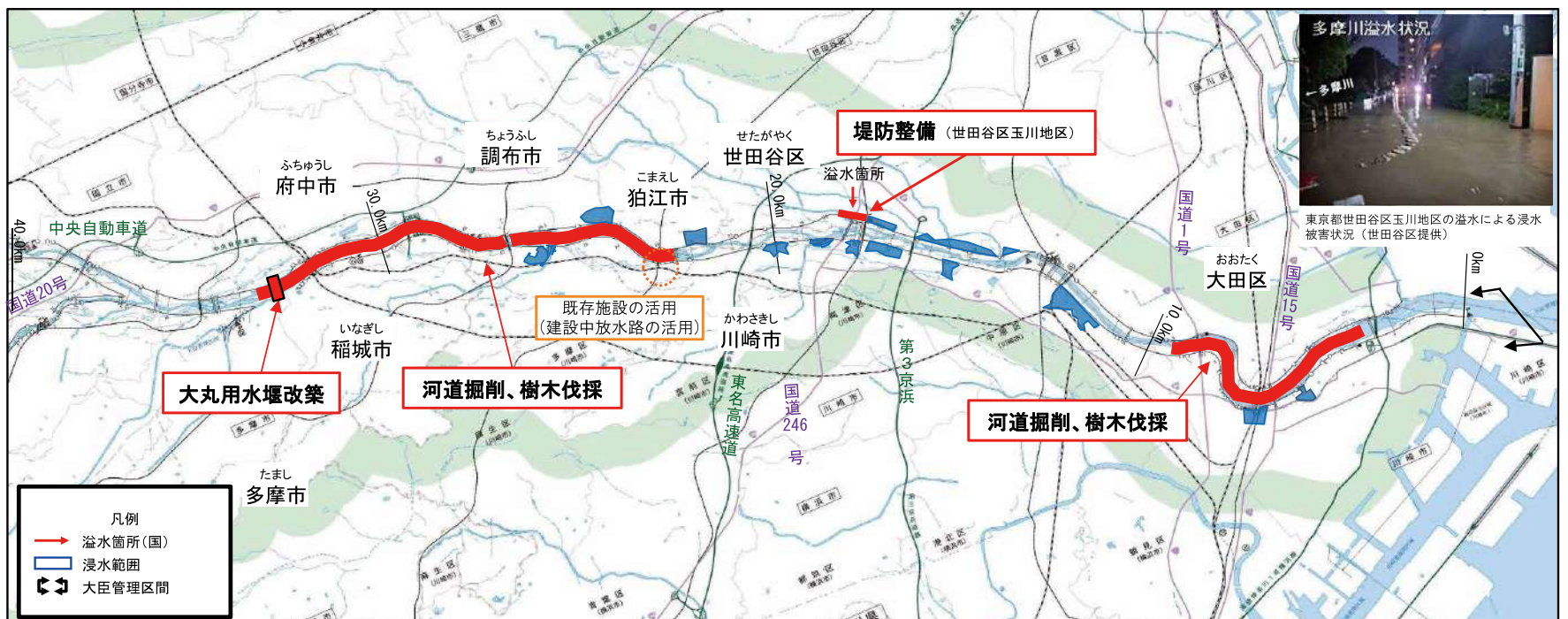
全体事業費 約191億円  
災害復旧 約28億円  
改良復旧 約163億円  
事業期間 令和元年度～令和6年度  
目標 台風第19号洪水における本川からの越水防止  
対策内容 河道掘削、樹木伐採、堰改修、堤防整備 等

#### ■流域における対策

（下水道事業等の整備促進）  
・流出抑制施設の整備等  
・既存施設（五反田川放水路（建設中））の活用による雨水貯留  
・下水道樋管等のゲート自動化・遠隔化等  
・移動式排水設備（排水ポンプ車等）の整備  
・土のう等の備蓄資材の配備等

#### ■ソフト施策

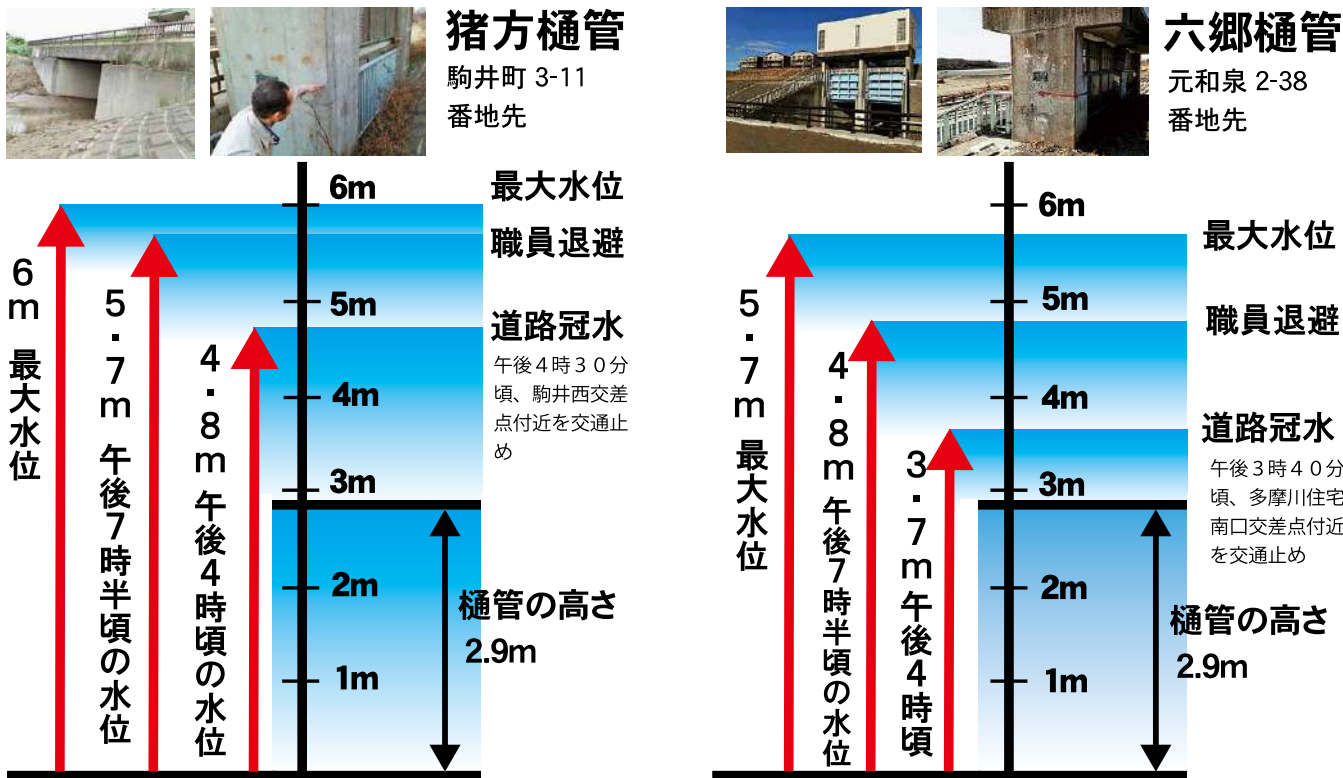
・自治体との光ケーブル接続  
・簡易型河川監視カメラの設置  
・多機関連携型タイムラインの策定、運用  
・講習会等によるマイ・タイムラインの普及促進  
・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進  
・自治体職員対象の排水ポンプ車運転講習会の実施 等



# 二度と被害おこさない

台風19号ー最大水位、道路冠水時より1.2m～2.0m上昇  
多摩川の水位大幅低減ー国に働きかけを

## 台風19号（2019年10月12日）当日の多摩川の水位イメージ図



\*最大水位と職員退避の水位は概ねの数値 \*道路冠水時刻は仮定の時刻 \*市の答弁等をもとに作成したもの

市長「多摩川の水位の低減」 私からも要望していい

鈴木えつお議員が質問

「多摩川緊急治水対策プロジェクトを実施した場合、どこまで水位が下がるのか」。日本共産党の鈴木えつお議員の質問に総務部長は「大丸用水堰

（稲城市）付近から下流を計画高水位（堤防が決壊しない水位）以下に抑え安全に流下させることができる」（総務部長）と答えています。しかし、今回の台風では調布市の石原観測所では計画高水位5・94

mを0・39m超える6・33mの最高水位を記録し、狛江市の両樋管の最大水位は道路冠水時の水位を1・2m～2m上回りました（左上図参照）。3月11日の予算委員会でも水道課長は「多摩川の水位が計画高水位を超えた場合は、排水ポンプによる排水は出来ない」「排水ができない場合は、浸水が発生することが考えられる」と答えました。

計画高水位以下とは水位を0・39m以上上げることですが39cm程度の水位低下で、排水ポンプも使えず深刻な被害がまた起きてしまします。被害を防ぐためには六郷樋管の最大水位を2m以上、猪方樋管は1・2m以上上げなければなりません。

鈴木議員は「水位の大幅低減、少なくとも排水ポンプが使える水位まで引き下げよう国に要望してほしい」と求めました。松原市長は「今お話をうけた高水位のことをどうにか問題になつてくるので、この辺はしっかりと私からも要望していきたい」と答えました。

日本共産党は引き続き被害防止へ多摩川の水位の大幅低減を求めてまいります。

「止水板等の助成、研究したい」



止水板のイメージ  
（三鷹市ホームページより）

ここでは止水板の設置に助成をしています。朝霞市や我孫子市では止水板だけでなく止水シートの購入や大工さんに頼んで行う浸水防止工事や家屋等のかさ上げなど、住民が行う多様な浸水防止対策に助成を行っています。

今回被害が深刻だった根川周辺や猪方・駒井地域を重点対策地区と位置づけて水害対策を急ぎ実施することが求められています。

三鷹市や杉並区などでは「ぜひ少しでも被害の軽減につながるよう、狛江市でも助成措置を考えていただきたい」との鈴木議員の質問に、市長は「有効性はあると思うが建築物によって異なることもあるので、いろいろ研究し今後考えていきたい」と答えました。



鈴木えつお議員  
3488-8839



西村あつ子議員  
3480-2780



田中とも子議員  
042-427-1183



宮坂良子議員  
3480-1895



岡村しん議員  
6751-2757

なんでもお気軽に  
ご相談ください

# 市役所駐車場



## 公民館利用団体に駐車料金軽減

### 宮坂良子議員など提案

4月から市役所駐車場の利用料金が、公民館利用団体は一台分無料になることになりました。

駐車場が有料化され公民館利用者から「荷物が重いため車は欠かせない。無料にしてほしい」「有料になり用具の重いグループ活

動に参加できなくなつた」「教材の運搬や高齢者の送り迎えがある」などの声が寄せられました。

日本共産党市議団は宮坂良子議員などが公民館利用者の駐車料金の3時間無料化を繰返し求めてきました。利用者の声をお聞きしながら充実を求めてまいります。

# 消費税・コロナ・台風

なんとしても

市民の生活と営業守ろう！

## 日本共産党が予算組替え提案



日本共産党市議団が提案した一般会計予算の組替え提案には国保税軽減とともに市民の切実な願いが数多く含まれています（左下表参照）。

ひとり親家庭への家賃補助制度は東村山、東久留米、国立、武蔵野、日野など5市で実施されています。学校給食費など就学援助制度の拡大は、市が実施した「子どもの生活実態調査」で小中学生の18・19%が生活困難層となつて

いる中、就学援助の支給率が8・13%と低く抑えられていることから、これを拡大し、加齢性難聴者に補聴器を支給する制度は1000名近い要望署名が市長に提出されています。エアコン等家財家電等の購入助成は、床上浸水の被害にあって多額の出費を余儀なくされている方々に市独自の制度として一部を助成するものです。栃木

市などでも実施されています。この予算組替え提案は共産5、立憲2、生活ネ1、無所属1の9人が賛成しましたが9対11で否決されました。しかしこれらの施策は市民生活を守るためにどうしても必要な施策です。今後も実現に頑張ります。可決された予算には市民の要望に基づき日本共産党市議団が一貫して求めてきた子どもの医療費助成の拡大（1面）や「ひだまりセンター」の開設、市役所駐車場の公民館利用団体への軽減制度などが含まれています。日本共産党市議団は引き続き、だれもが安心して住み続けられる粕江へがんばります。

## 立憲、生活ネなどの議員が賛成

日本共産党市議団が提案した一般会計予算の組替え提案には国保税軽減とともに市民の切実な願いが数多く含まれています（左下表参照）。

ひとり親家庭への家賃補助制度は東村山、東久留米、国立、武蔵野、日野など5市で実施されています。学校給食費など就学援助制度の拡大は、市が実施した「子どもの生活実態調査」で小中学生の18・19%が生活困難層となつて

### 一般会計予算組替え提案

- ①ひとり親家庭への月額5千円の家賃補助制度を創設（370万円）
  - ②就学援助の支給対象者を生保基準の1.1倍⇒1.2倍へと拡大（470万円）
  - ③高校生向け奨学金の定員を10名⇒20名へと拡大（122万円）
  - ④低所得者への介護サービス利用料の3割を軽減（700万円）
  - ⑤加齢性難聴者への補聴器支給制度を創設（370万円）
  - ⑥生活困窮者へのエアコン等冷房設備購入設置助成制度（200万円）
  - ⑦水害被災者へのエアコン等家財家電等購入費の一部助成（740万円）
  - ⑧消費税増税・コロナ対策緊急融資制度創設（無利子無担保）（200万円）
  - ⑨国保税値上げの4割減額、多子世帯への軽減制度（1766万円）
  - ⑩自動起動装置付きの緊急告知 FM ラジオの貸出制度創設へ普通のFMラジオの予算は削除（▲350万円）
- \* 必要財源約 4588 万円は財政調整基金 13 億 8771 万円の一部を活用

## 「ひだまりセンター」開設へ



子育て教育支援の複合施設「ひだまりセンター」が4月末開所します（写真）。ひだまりセンターでは妊娠から18歳まで、子どもたちの発達を切れ目なく支援します。

子育て教育支援の複合施設「ひだまりセンター」が4月末開所します（写真）。ひだまりセンターでは妊娠から18歳まで、子どもたちの発達を切れ目なく支援します。

## 無料法律生活相談

- 毎月第1火曜日…午後1時～4時
- 市役所3階 日本共産党市議団控室



\* 市議・弁護士が相談をお受けします。  
\* お申し込みは3430-1177（団控室）か各市議へ

日本共産党市議団のホームページは [日本共産党粕江市議団](#) [検索](#)